

町長と語る会（すがかわふれあいセンター） 議事録（要旨）

●意見交換

意見 すがかわ暮らし応援隊をやっている。移住の関係で伊那市の取り組みを視察してきた。伊那市は若者が住宅を取得する際の補助金が手厚い。また、伊那市は2年間の長期体験住宅もある。伊那市の昨年の実績は104世帯、200人以上の移住の実績があったそう町も若者への積極的な移住対策をお願いしたい。また、豪雪地帯における高齢者支援で、我々暮らし応援隊は取り組みを行っているが、除雪に困った方がいる場合、まずは民生委員に連絡する。そして民生委員が現場を見に行き、除雪が必要と判断した場合、町へ連絡する。町は8時半からなので、我々も出動するのが遅くなる。（除雪支援員派遣事業）そうすると、その方がデイサービスに行くにも間に合わない状態。除雪支援員派遣事業で我々が早く出動できるような仕組みに変更していただきたい。これには県の支出金もあるので、町がどのくらい独自に変更できるかはわからないがお願いしたいところ。飯山市は飯山市独自の制度で各集落に支援員3人を設置して取り組みを行っている。

町長 さまざまな移住者支援を先行してやっている自治体があるので、そういった自治体を見て勉強しながら、町としても取り組んでいきたい。お金を出せば移住者が増えるというわけではないと考えるので、しっかりと移住・定住してくれるような仕組みを検討したい。雪下ろしの支援策については、この間も相談をいただいているので、どういった対応ができるかは担当課と話し合う。

意見 町道の除雪について、夕方に大雪が降っても、朝まで除雪してもらえないことがある。状況にあった除雪をお願いしたい。

建設水道課長 除雪は速やかに出動できる仕組みをとっているつもりではあるが、除雪の基準もあることなので、いつでも自由に出動していいですよというものでもないため、その辺の誤差があったのかもしれない。いずれにしても速やかな対応は取れるように引き続き取り組む。

意見 除雪会議に出席したことがあるが、業者と地元の間が同じ会議でやるので、顔見知りな業者に地元の間が言いたいことが言えない状況もある。できれば、業者と地元の間とわけて欲しい。町道の基準があって、その基準になったら夕方であろうと出動するのが筋。それでも、出動しない状況もあるので、除雪業者の行政サービスを担っているという意識が薄いのではないかと感じる。また、除雪の必要がないときに除雪をしたりもしている。また、春先の畑の排雪についても、須賀川の間が畑に種をまくのは5月くらいなため、本当に必要なものかどうか、確認が必要と思う。そこを見直した分の経費を、本当に必要なときの除雪に充てて欲しい。

建設水道課長 排雪の状況について、詳細にはわかりかねる部分もあるが、確かにお話しのとおり排雪が不要な部分もあると思う。ただ、その場所の排雪を始めた経過もあると考えられるので、検討はさせていただく。また、こちらとしても非効率に除雪を行うつもりもないことをご理解いただきたい。

意見 10年ほど前に移住してきた。町は非常に住みにくい。須賀川には、農協がなくなる、学校もなくなる、コンビニもなくなった。買い物もできない。そんな場所である。八丁原に住んでいるが、自宅から一番近いバス停まで1kmもある。今はまだ大丈夫だが、もっと歳をとったときに生活できるかなという心配がある。いま、楽ちんバスがデマンドに切り替わろうとして、中野市まで行けるようになるのはわかるが、もっと急がないと10年後には暮らすことができなくなる可能性がある。デマンドに入りたいのは病院と買い物、病院は北部診療所がいい。北部診療所に公共交通で通院できるようにというのは、前々から要望している。何とか行政のほうでお願いしたい。

町長 スピードが遅いのは大変申し訳ない。デマンド交通のシステムを導入してこれから実証運行を行う。私としては、そこからすぐに事業化すればよいと思うが、なかなか行政はそこまでスピード感をもって行うことが難しい。とはいえ、まずは一歩ずつ進めていこうと思うので、ご理解いただきたい。

意見 ジェンダーの問題やパートナーシップの問題なども行政が排他的にならずに進めていかないと町おこしにはならない。これがクリアされればもっともっとこの町は住みやすくなるのではないかな。

町長 長野県ではパートナーシップ制度をつくって取り組みを進めている。町はこれからゼロカーボン宣言を行おうとしているが、そういったものも含めて後手に回っていることが否めない。パートナーシップやジェンダー関係の問題も前向きに取り組んでいきたい。

意見 町長が新しくなって、色々と町のためになることを進めるのはいいが、役場の職員が手一杯になって中途半端になってしまうのも心配されるので、そのあたりも考えながら進めてほしい。みんなの一般質問について、色々聞きたいこと、日々生活している中で直して欲しいところはあるが、一般質問で質問するのはハードルが高い。そういう意見の相談窓口を作って欲しい。直接担当に電話をしたことはあるが、当事者に言うのはなかなか言いにくい。町長なり副町長なりに直接意見ができて、職員にそれが伝えられ、改善されるという仕組みを検討して欲しい。というのも、ホームページが新しくなったのはいいがリンク切れが多く、そのページを作っている課の職員に連絡したが未だに直っていない。役場の人は自分の課のホームページをきちんと確認しているのか。また、ホームページを介して町に意見をしたが、その返答もない。役場の末端の職員に言っても改善されないのだろうなということもあるので、何とかして欲しい。

町長 ホームページについては、リンク切れが多くなっていることは承知している。徐々に改善させていく。また、情報提供という面では、LINEからもできるようにしているのも一つあるし、みんなの一般質問というプロジェクトを開始したのは、通常の情報提供とは違い、皆さんに公開して町と町民の方で議論していただけるようなものを作りたいなどと思って始めた。実際、皆さんが役場に直接言いに来ることは大変ですが、役場の皆さんも町をよくしたいという思いでやっていることから、LINEを使ったり、電話でもいいですし、皆さんからの情報提供を今後もお願いしたい。

意見 この意見に答えはもらえないのだが、実は先日役場のある窓口に行ってきた。こんにちはと声をかけても誰も出てこない。窓口としては感じが悪い。住民があいさつしたら、作り笑顔でもいいから、だれか返事をするようにしてほしい。役場の雰囲気をもっとよくしてほしい。

町長 対応策を早急に検討する。

意見 介護保険料がもう少し下がらないか。

健康福祉課長 介護保険料は皆さんの支えあいということで成り立っている。皆さんにお支払いいただいている介護保険料の全体を下げるような努力、取り組みは進めさせていただく。

意見 竹細工がふるさと納税の返礼品に加えられそうだとすることを竹細工振興会の会長から聞いて、竹細工は須賀川地区の伝統文化であるため、とてもうれしいと感じた。その言い一方で、今日の町長の説明を聞いていると、ふるさと納税の返礼品を増やしたいから何でもいから集めたい。というような感じに聞こえた。町は、須賀川の竹細工を伝統文化といってくれているが、何もしてくれていない。長野市などは市の伝統文化を美術館で展示会などをやってくれている。もう少し伝統文化を町としてきちんととらえてほしい。

町長 伝統文化をないがしろにするつもりはない。ふるさと納税の返礼品にするにも、ストーリーと歴史をもっと、対応している。ただ、ふるさと納税を増やしていかなければ新たな取り組みもできないため、ふるさと納税を増やすために返礼品を充実させたいということであることをご理解いただきたい。また、伝統文化に対して町がどのような取り組みをしていけるかについても引き続き検討していきたい。

意見 普段から観光に携わっているが、町長として飯山駅の活用について、例えば二次交通

などをどのように考えているか。

町長 飯山駅の活用については私も考えている。山ノ内町の観光インフラ、須賀川地区としては竜王という大きな観光地がある。二次交通を整備すれば、というような問題でもないと思うので、北志賀高原、須賀川の野菜など全体的に含めて活性化を狙いたい。また、生活動線と観光動線を分けて考える必要があると思っている。竜王のことを言えば、例えば竜王に向かうバスが集落の中を通っているのが問題かなと私は思っているので、バス路線はバス路線で別の場所に作れないかということも検討している。長電バスについても、いつまでも存続してくれるわけではないので、観光インフラをどうしようというのは今後の課題として検討していく。

意見 有害鳥獣対策について、町の防災無線でどこにクマが出没したという放送がしょっちゅう流れているが、須賀川の間は、クマを見かけても町へ連絡することもない。須賀川の場合はクマがいても当たり前という認識があるので、町の放送ではなく、須賀川区だけの中でどこにクマが出没したというような仕組みができればいいと思う。

農林課長 クマやイノシシの報告については須賀川区からもちよくちよくらっている。こちらとしては、電柵、檻の設置などで対応させていただいている。須賀川区の中での情報共有の仕組みというものは、現在なくて、あくまでも役場に報告をいただいたもののみである。区の中で、となると須賀川区でいうと各組と行政とのやり取りとなるので、まとめるのが大変かなと感じるのが正直なところ。

●閉会